SoundLink® wireless music system

取扱説明書

安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⚠ △記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠ ⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止を意味します）

● ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●異常が発生したとき

⚠ 警告

電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く
そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。特にお子様がいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグを抜く

落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグを抜く
そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。

交換を依頼

電源コードや電源プラグが傷んだ場合は交換する
電源コードや電源プラグが傷んだ状態（芯線の露出、断線、変形など）で使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。

●設置、保管するとき

⚠ 警告

専用品を使用

電源コードは付属の専用品を使用する
専用電源コード以外の使用は、火災や感電の原因となります。また、本機の専用電源コードを他の機器に使うこともお止めください。

必ず実行

電源プラグは、抜き易い位置にあるコンセントに接続する
万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。

●設置、保管するとき

⚠ 警告

確実に差す

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、発熱による感電や火災の原因となります。また、ほこりがたまり易くなったり、プラグの金属部分に触れる危険性があります。

禁止

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いた所、振動する所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。

禁止

電源コードを傷付けない
電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したり、上に重い物を乗せたりしないでください。ケーブルが破損して、火災や感電の原因となります。特に、電源プラグ部分やコードが本体から出ている部分はお気を付けください。

禁止

タコ足配線をしない
コンセントや配線器具に同時に多数の機器を接続して電源を取ると、コードなどが過熱し、火災の原因となります。

水ぬれ禁止

火災や感電の危険性を低減するために、機器を雨や湿気にさらさない

水ぬれ禁止

水の近くまたは湿度の高い場所で使用しない
機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。

●設置、保管するとき

⚠ 警告

機器内部に水をたらしたりかけたり、
花びんのように水を満たしたものをそばに置かない
他の電気製品と同様に、機器内部に水分をこぼしたりしないでください。故障や火災の原因となります。

本機の上や周囲に、小さな金属物を置かない
内部に落下した場合、火災や感電の原因となります。

風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かない
機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。

AC アダプターは付属の専用品を使用する
専用 AC アダプター以外の使用は、火災や感電の原因となります。また、本機の専用アダプターを他の機器に使うこともお止めください。

通風孔をふさがない
布をかぶせたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、通気が不十分な狭いスペースに押し込んだりしないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因となります。

底面を下にして設置する
通気を正しく行うために、底面を下にして設置します。

梱包袋は安全な場所に保管する
製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因となります。

⚠ 注意

高温の場所に置かない
窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所、熱源のそばなど、温度が異常に高くなる場所に機器を設置 ・ 保管しないでください。過熱や部品の変形などにより、火災や感電の原因となることがあります。

ほこり、油煙、湯気、湿気、高温の場所に置かない
ほこり、油煙、湿気の多い場所や、直射日光の当たる場所、直接ライトが当たる場所、高温になる車の中などには置かないでください。故障の原因となります。

ゴムやビニール製品に本体を長期間接触させない
外装が変質し跡が残ることがあります。

移動させる場合は、電源コードその他の接続線を外す
電源コードに無理な力が加わって傷付き、火災や感電の原因となることがあります。また他の接続線が引っかかり、けがの原因となることがあります。

●使用するとき

⚠ 警告

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
電源コードが傷付き、火災や感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

機器のそばに、ろうそく等の火がついているものを置かない
引火して火災の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、本体やケーブル類に触れない
感電の原因となります。

本体のカバーを外したり、分解や改造をしない
火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

小さな部品は幼児の手の届かないところに置く
誤飲や窒息などの危険がありますので、小さなお子様の手の届かない所に保管してください。

⚠ 注意

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使用しない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
本機は電源を切った状態でも、常に微弱な電流が流れています。長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れのときは電源プラグを抜く
安全のため、お手入れは電源プラグを抜いてから行ってください。感電の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除をする
5 年に一度程度を目安に、機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま長時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

電源プラグやコンセント部の掃除をする
電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。

全般的な注意事項

1. 機器の使用前に、全ての説明をお読みください。
2. 将来の参照用として、取扱説明書を保管してください。
3. 機器および取扱説明書上に記載された警告内容にご留意ください。
4. 指示にしたがってください。
5. 機器外装の安全マークをご確認ください。

●お手入れについて

・外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい時は、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布で拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。

製品に左のような安全に関する表示があります。表示内容は左下の日本語をご参照ください。

正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に警告するものです。

正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、この取扱説明書の中で、取り扱い上およびメンテナンス上、重要な項目であることをお客様に警告するものです。

Information about products that generate electrical noise

U.S.A. only

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, this is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Any changes to this device not expressly approved by Bose Corporation may void the user's authority to operate this device.

Canada

- This Class B digital apparatus complies with the Canadian ICES-003 Class B specification.
- The radio communication device incorporated into this apparatus meets all requirements of the Industry Canada standard RSS-210.

CE Bose Corporation はここに、本 SoundLink Wireless Music System は Directive 1999/5/EC の必須条件および他の関連条項に準拠していることを宣言します。
適合申請書は <www.Bose.com/static/compliance/index.html<http://www.Bose.com/static/compliance/index.html>> にてご参照いただけます。

●リモコンのボタン電池について

⚠ 警告

電池内部から漏れ出た液（電解液）には直接ふれない
- 液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
- 液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- 液を舐めた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

指定された種類以外の電池は使用しない
発熱や破裂、液漏れにより、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池を加熱、火の中に入れるなどしない
過度の加熱や火の中に入れると液漏れ、破裂のおそれがあります。過度に温度が上がった場合、および火中投入した場合には、電池の内圧が高まり、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池を分解 ・ 改造しない
無理に電池を分解しようとすると、手指を傷つけたり、電池内部の電解液が飛び散って衣服を損傷したり、皮膚のただれや化学やけどを起こすばかりでなく、目に入った場合には、失明するおそれがあります。

電池のプラス⊕とマイナス⊖をショート（短絡）させない
ショートさせると電池は激しく発熱し、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。ショート事故防止のためコイン、ネックレス、ガムの包装紙などの金属と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。また、アルミホイル、ガムの包装紙などで電池を包まないでください。

乾電池は充電しない
破裂や液漏れにより、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池端子に直接はんだ付けをしない
電池を加熱することになり、温度上昇によって使用している樹脂部品の変形を生じ、液漏れ、内部ショートなどの異常を生じ発熱、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

●リモコンのボタン電池について

⚠ 注意

投げつけたりして強い衝撃を与えない
電池を変形させないでください。電池を落下させて変形させたり、無理な力を加えて変形させると、電池封口部のゆがみによって液漏れ、内部ショートなどの異常を生じ発熱、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池は濡らさない
水や海水、ジュースなどの液体で電池を濡らすとさびたり、ショートする原因となります。ショートすると液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

外装チューブをはがさない
電池の外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと。電池がショート状態となり易く、電池が液もれ、発熱、破裂する原因となります。

使い切った電池はすぐに機器から取り出す
過放電させると液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

長い間使用しない時は、電池を機器から取り出す
スイッチを切っていても機器の中の電池は電気が少しずつ減っていきます。液もれの原因にもなりますので長期間使用しない場合は電池を取り出しておいてください（非常用を除く）。

極性表示 (プラス⊕とマイナス ⊖) に従って正しく入れる
電池のプラス⊕とマイナス⊖を逆に接続すると、充電されたり、機器によっては電池がショート状態になり発熱、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く
誤って飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。また、乳幼児が充電器や使用機器から電池を取り出さないように注意してください。犬などのペットにも電池を運ばせないようにしてください。

電池は直射日光、高温多湿の場所を避けて保管する
電池の保管も人と同じ環境が望ましいです。湿度が高いと電池に露（水分）がつき、ショート（短絡）することがあります。また、高温下に長い間放置されると性能が低下します。

正しく処分する
乾電池は一般の不燃ごみとして処理してよいことになっていますが、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。端子部に他の電池が接続すると、電池が充電または、過放電され、破裂や発火することがあります。廃棄時には端子部にセロファンテープなどを貼り付けて絶縁してください。

リチウムイオンバッテリー取扱上の注意事項

バッテリーは消耗品です。
充電、放電を繰り返すうちに完全に充電しても使用できる時間が徐々に短くなってきます。

バッテリーはエネルギーを持っています。バッテリーを正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず注意書きをよくお読みください。

●リチウムイオンバッテリーについて

⚠ 警告

電池内部から漏れ出た液（電解液）には直接ふれない
・液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
・液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。
・液を舐めた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

専用充電器を使用して充電する
指定以外の充電器、ＡＣアダプターで充電すると、発熱や破裂、液漏れにより、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

直接電源コンセントやシガレットライターに接続しない
リチウムイオンバッテリーは充電器を介さずに直接電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口に接続しないでください。感電したり、高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、リチウムイオンバッテリーを液もれ、発熱、破裂、発火させる原因になります。

電池が液もれしたら火気から遠ざける
電池が液もれしたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざけてください。もれた電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

電池を加熱、火の中に入れるなどしない
過度の加熱や火の中に入れると液漏れ、破裂のおそれがあります。過度に温度が上がった場合、および火中投入した場合には、電池の内圧が高まり、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池を電子レンジや高圧容器に入れない
リチウムイオンバッテリーを電子レンジや高圧容器などに入れないでください。急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。

電池を分解 ・ 改造しない
電池を分解すると内容物で化学やけどを負ったり、破裂し発火する場合があり危険です。また、改造すると危険を防ぐ機能がそこなわれ、破裂、発熱、発火の原因となります。

⚠ 警告

電池のプラス⊕とマイナス⊖をショート（短絡）させない
ショートさせると電池は激しく発熱し、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。ショート事故防止のためコイン、ネックレス、ガムの包装紙などの金属と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。また、アルミホイル、ガムの包装紙などで電池を包まないでください。

電池端子に直接はんだ付けをしない
電池の端子に直接ハンダ付けしないでください。熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構が損傷し、発熱、破裂、発火の原因になり危険です。

電池の異常に気づいたら使用を中止する
電池の使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいた時は、機器あるいは充電器より取り出し、使用しないでください。使用継続の場合は電池が発熱、破裂、発火する原因になります。

電池は濡らさない
リチウムイオンバッテリーを水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください。リチウムイオンバッテリーに組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオンバッテリーが充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。

⚠ 注意

投げつけたりして強い衝撃を与えない
リチウムイオンバッテリーに高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオンバッテリーが変形したり、リチウムイオンバッテリーに組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオンバッテリーが充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。

電池に釘を刺したり、踏みつけたりしない
リチウムイオンバッテリーに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオンバッテリーが変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。

電池を高温になる場所に放置しない
リチウムイオンバッテリーをストーブなどの熱源の脇や、自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しないでください。リチウムイオンバッテリーを液もれさせる原因になるおそれがあります。

熱がこもる場所で電池の充電はしない
リチウムイオンバッテリーの充電や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしないでください。リチウムイオンバッテリーを発熱、破裂、発火させるおそれがあります。

水で消火しない
発火時には、消火のために水を使用しないで、消火器を用いてください。水を使用すると、火災を拡大させる原因になることがあります。

●リチウムイオンバッテリーについて

⚠ 注意	
	使い切った電池はすぐに機器から取り出す 過放電させると液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。
	過充電しない 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。過度に充電され、バッテリーを漏液、発熱させる原因なります。
	長い間使用しない時は、電池を機器から取り出す スイッチを切っていても機器の中の電池は電気が少しずつ減っていきます。液もれの原因にもなりますので長期間使用しない場合は電池を取り出しておいてください（非常用を除く）。
	電池を乳幼児やペットに取り扱わせない 乳幼児や動物 ・ ペットには、リチウムイオンバッテリーの取り扱い、運搬をさせないでください（舐める、口に入れる、噛む等の危険防止）。
	使用時間が極端に短くなった電池は使用しない 電池には寿命があります。機器の使用時間が短くなった時は、新しい電池とお取り替えください。交換時期を過ぎて使用した場合、バッテリーの内部短絡、温度上昇など電池を漏液、発熱、破裂させたり、充電器の故障の原因となる場合があります。
	電池の模造品（にせもの）や改造品に注意 製造メーカー名や販売会社名などの表示や注意書きのない電池は模造品や改造品の疑いがあります。模造品や改造品の中には、危険防 止のための安全機構が傷んだり、なかったりするものがあります。破裂、発火したりして危険ですので、購入する際は十分注意してください。

バッテリーのリサイクルにご協力ください

○使用済みバッテリーは、リサイクル協力店に設置してある小形充電式電池「リサイクル BOX」に入れてください。
詳しくは、一般社団法人 JBRC ホームページ（http://www.jbrc.com）をご覧ください。
弊社は、一般社団法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。

○使用済み充電池をリサイクルする際の注意とお願い。

・使用済みバッテリーは、ショート (短絡) 防止のため端子部分にビニールテープなどを貼る等の絶縁処理を行ってください。

・リサイクル BOX に入れるときは、乾電池などの他の電池を混ぜないでください。

・バッテリーを火中に投じると破裂の恐れがありますので、絶対にしないでください。

その他リチウムイオンバッテリー使用上の注意事項

・ご使用になる前に、システムに付属している専用の AC パワーパックを使ってバッテリーを充電してください。充電の方法は取扱説明書をご覧ください。
・バッテリーは通常の室温（20℃）にて最も効率良く動作します。
・充電は外気温度が 0 ～ 40℃の範囲内で行ってください。
・長期保存の後は、バッテリーの性能を回復させるために数回充電／放電を行ってください。
・6 ヶ月以上の長期保存の場合、自己放電による漏液防止のため、最低 1 年に 1 回の充電（50%程度）を行ってください。

●Bluetooth® 機器使用上の注意

⚠ 警告

禁止	**本製品を分解 ・ 改造して使用しないでください。電波法に抵触します**
22cm以上離す	**心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から 22cm 以上離して使用してください** ペースメーカーに影響を与え、重大事故につながる場合があります。
使用禁止	**病院内や航空機の中などでは使用しないでください** 高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機器や航空機の計器類などの誤動作の原因となります。

本製品の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。他の無線機器も同じ周波数帯を使っていることがあり、電波干渉を防止するために、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用周波数帯 (2.4GHz 帯) では電子レンジなどの産業 ・ 科学 ・ 医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局 (以下「他の無線局」) が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止 (電波の発射を停止) してください。
3. その他、本製品の使用にあたり不都合やお困りのことが生じた時は、弊社までお問い合わせください。

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 18m です。

良好な通信のために

- 他の機器とは、見通し距離で約 18m 以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できない場合があります。
- 電気製品 (AV 機器、OA 機器) から約 2m 以上離してください。(特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので 3m 以上離してください。) 正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
- 使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをおすすめします。他の Bluetooth 機器から接続要求に応答するために常に電力を消費します。

無線 LAN 機器との電波障害について

- IEEE802.11g/b の無線 LAN 機器と本製品などの Bluetooth 機器は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

テレビ / ラジオを本製品の近くではできるだけ使用しないでください

- テレビ / ラジオなどは Bluetooth とは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの通信に影響はありません。ただし、これらの機器を Bluetooth 製品に近づけた場合は、本製品を含む Bluetooth 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません

- 本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用される木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

製品について

このたびはSoundLink wireless music systemをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本機をお使いになることにより、どのお部屋からもパソコンの音楽をワイヤレスでお楽しみいただけます。

特長

・「USBキー」を接続するだけで使用可能な簡単セットアップ。パソコンに専用ドライバやソフトウェア等をインストールする必要はありません（Windows XP、Windows Vista、Windows 7、MacOS X 10.4以降に対応）。

・広範囲ワイヤレスリンクにより、家中どこでも音楽を楽しめます。

・充電式リチウムイオンバッテリー搭載。電源がそばにないところでも、ボーズサウンドをお楽しみいただけます。

・便利なリモコンが付属しています。

開梱時の注意

以下の付属品が全て同梱されているか、ご確認ください。

後日機器の搬送が必要となった場合のために、箱や梱包材を保管されることをお勧めいたします。

万一、開梱時に同梱物の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はお止めください。

SoundLink
スピーカー

ACパワーパック

専用100Vプラグ

リモコン

SoundLink
USBキー

注 意

製品のゴム足について

- ゴム足は素材の性質から、設置面の塗料によっては、移行または汚染を示す可能性があります。事前にご確認のうえご使用ください。
- 付属のゴム足は高摩擦性を有している分、塗装面との接触面に密着しやすい性質を持っております。接触面の一部を剥がしてしまう可能性も有りますので、事前にご確認のうえご使用ください。

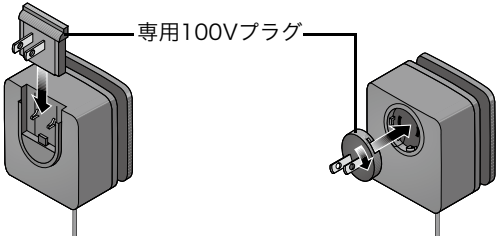
システムご使用の準備

お買い上げ直後の状態では、バッテリーは完全に充電されていません。システムは休止状態となっています。

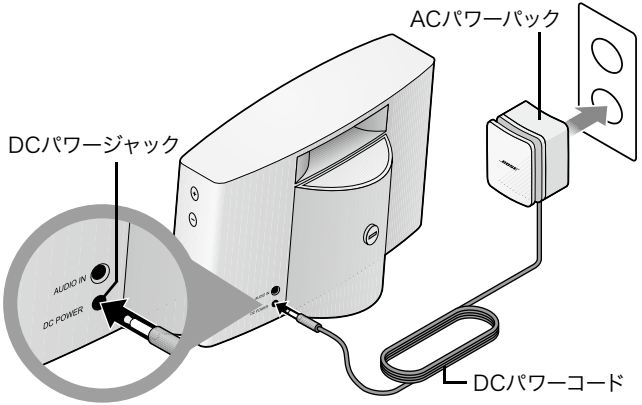
システムを作動させバッテリーを充電するために、以下の作業を行ってください。

1. SoundLinkスピーカーを、平らで安定しているところに設置します。

2. ACパワーパックに、付属の専用100Vプラグを取り付けます。



3. ACパワーパックのDCパワーコードを、SoundLinkスピーカー背面のDCパワージャックに接続します。



4. ACパワーパックのプラグを、コンセントに差し込みます。

⚠警告：

ACパワーパックは、製品に同梱されている正規品のみをご使用ください。

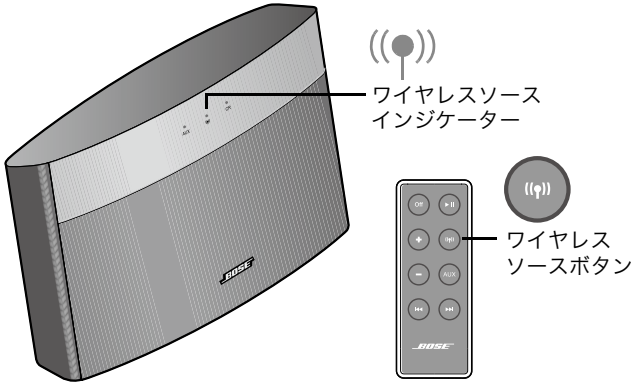
お知らせ：

満充電となるまでに、約10時間かかります。詳しくは、17ページの“バッテリーの充電について”をご覧ください。

パソコンとの接続

1. SoundLinkスピーカーのワイヤレスソースインジケーターが点滅していることを確認してください。

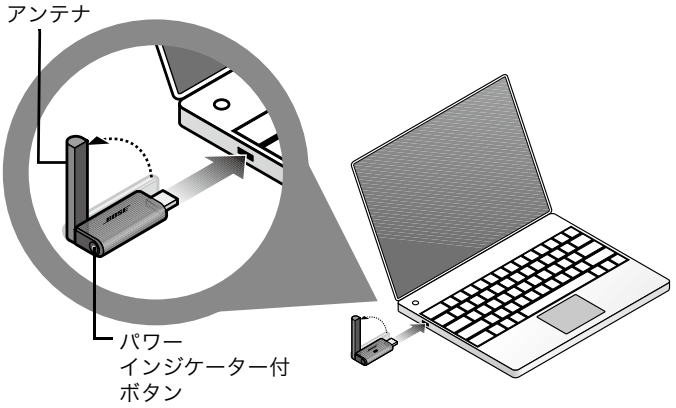
   点滅していない場合は、リモコンのワイヤレスソースボタンを押してください。ワイヤレスソースインジケーターが点滅を始めます



2. パソコンの電源が入っていること、および音楽再生ソフトはまだ立ち上がっていないことをご確認ください。

3. USBキーのアンテナを垂直に起こし、パソコンのUSBポートに差し込んでください。

   USBキーのパワーインジケーターが点灯し、続いて点滅を始める事をご確認ください。



4. パソコンがUSBキーを認識するまで、数秒間お待ちください。準備が完了すると、自動的にSoundLinkスピーカーとの間で接続が確立されます。一番最初はおよそ20秒ほどかかりますが、それ以降は短時間で接続が確立されます。

ワイヤレス接続の確立中、ワイヤレスソースインジケーターと USB キーのパワーインジケーターの点滅速度が速くなります。

両方のインジケーターの点滅が点灯に変わり、本体から確認音が聞こえれば、システムは使用可能となります。

5. 音楽再生アプリケーションを立ち上げるか、インターネットラジオの操作を行い、お聴きになりたい曲を再生してください。

ワイヤレス接続の解除や再接続を行う場合は、USBキーの端にあるパワーインジケーター付ボタンを押してください。詳しくは13ページの“USBキーの使い方”をご覧ください。

お知らせ：

SoundLink wireless music systemをご使用中は、コンピューターの内蔵スピーカーあるいはサウンドカードから、音声は出力されません。

SoundLink スピーカーから音楽が聞こえない場合

Mac コンピューターをお使いの方へ：

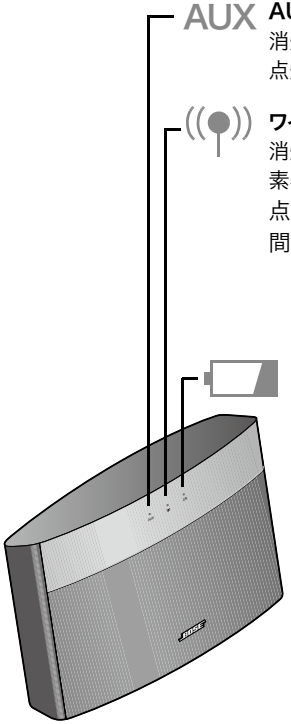
初めてUSBキーを接続したときに、システム環境設定の“サウンド”を開き、“出力”を選び、サウンドを出力する装置の選択で"Bose SoundLink Audio"を選んでください。

Macおよびwindowsをお使いの方へ：

音楽再生アプリケーションを一度終了し、再度立ち上げます。

システムステータスインジケーターについて

SoundLinkスピーカー前面パネルのステータスインジケーターは、現在選んでいるソース（音源）とバッテリーの残量を表示します。



AUDIO INソースインジケーター
消灯……AUX（外部入力音源）非選択時
点灯……AUX（外部入力音源）選択時

ワイヤレスソースインジケーター
消灯……ワイヤレス非接続時
素早い点滅……ワイヤレス接続作業中
点灯……ワイヤレス接続完了
間欠的な点滅（およそ3秒間隔）……
ワイヤレスソースが選択されているが、パソコンと接続されていない

バッテリーインジケーター

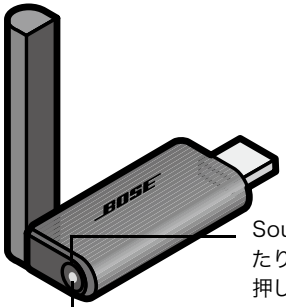
- ACパワーパックを接続しないで使用している時に、バッテリー残量を表示します。詳しくは、16ページの“バッテリーで使用するとき”をご覧ください。
- バッテリー充電時に、充電状況を表示します。詳しくは、17ページの“バッテリーの充電について”をご覧ください。

お知らせ：

リモコンのボタンを押すたびに、前面パネルの選択中のソースインジケーターが短く点滅します。

USB キーの使い方

USBキーはUSBポートに差し込むだけで、自動的にパソコンとSoundLinkスピーカーとをワイヤレス接続します。



SoundLinkスピーカーとの接続を解除したり、再接続させる時に、このボタンを押してください。

パワーインジケーター
消灯……USBキーへの電源未供給
ゆっくりと点滅……電源が供給され、SoundLinkスピーカーとの接続待状態
素早い点滅……接続の確立中
点灯……SoundLinkスピーカーとの接続完了

リモコンについて

リモコンのOff以外のボタンを押すことにより、SoundLinkスピーカーの電源が入ります。

リモコンのボタンを押すたびに、選択中のソースインジケーターが短く点滅します。

お使いになる音楽再生アプリケーションによっては、音楽再生中に再生/一時停止、および曲送りボタンがご使用になれます。

再生/一時停止、曲送りの機能は、インターネットラジオ放送局やいくつかの音楽再生アプリケーションでは働かない場合があります。

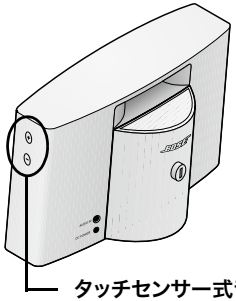
お知らせ：

このリモコンでは、AUDIO INに接続されている外部機器を操作することはできません。

Off	SoundLinkスピーカーの電源を切ります。
▶II	コンピューターでの再生の再生/一時停止を行います。
((ψ))	ワイヤレスのソース（音源）としてパソコンを選びます。
AUX	AUDIO INをソース（音源）として選びます。
+	音量を調節します。 押し続けると素早く増減します。
−	
▶▶I	次の曲に移動します。
I◀◀	一つ前の曲に戻ります。

音量調節について

タッチセンサー式の音量調整ボタンが、SoundLinkスピーカーの右側にあります。リモコンと同様に、音量の上げ下げを行う事ができます。



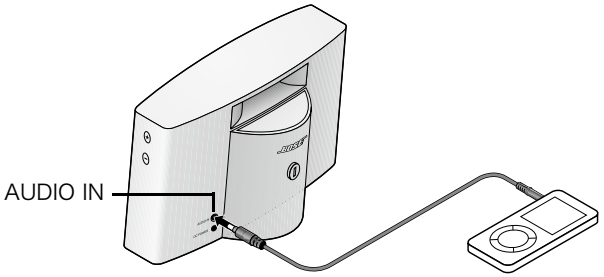
タッチセンサー式音量調整ボタン

・音量の上げ下げを行います。
・押し続けると素早く増減します。

外部ソース機器の接続

ポータブルデジタルオーディオプレーヤーなどの外部のオーディオ機器を接続することができます。接続には市販の3.5mmステレオオーディオケーブルを使用します。

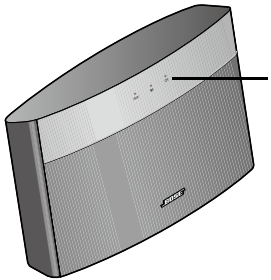
1. 外部機器に接続しているケーブルを、SoundLinkスピーカー背面のAUDIO INジャックにつなぎます。
2. リモコンのAUXボタンを押します。
3. 接続した機器の音量を最大にし、SoundLinkスピーカーの音量調整ボタンを使って音量の調整を行います。



バッテリーで使用するとき

SoundLinkスピーカーは、バッテリーを完全に充電した状態から最大音量で約3時間、連続再生が可能です。バッテリーでの再生時間は、再生する音楽の種類や音量によって変化します。また、音量を下げる事により著しく延ばす事ができます。

SoundLinkスピーカーのバッテリーインジケーターは、バッテリーの充電が必要かどうかをお知らせします。詳しくは、17ページの“バッテリーの充電について”をご覧ください。



赤く点滅……残量は満充電時の20%以下
（充電が必要です）

手動によるバッテリーチェック

通常バッテリーインジケーターは、電力消費を抑えるために消灯しています。残量を調べる時は、リモコンのOffボタンを長押ししてバッテリーインジケーターの色を確認してください。

緑……約70%以上
黄色……約70%～ 20%
赤く点滅……約20%以下（充電をしてください）

バッテリーの交換ついて

以下のような状況となった場合は、バッテリーの交換が必要です。

・充電を10時間行っても、バッテリーインジケーターの色が黄色の場合。

・バッテリーでの再生時間が短くなった場合。

バッテリー保護モードについて

SoundLinkスピーカーに14日間以上ACパワーパックから電源を供給せず、かつ操作をされなかった場合、本体はバッテリーの電力消費を抑えるために保護モードに入ります。この状態は、システムを初めてお使いになる時と同じものです。SoundLinkスピーカーを再起動させるためには、SoundLinkスピーカーに電源を接続し、バッテリーを充電してください。

バッテリーの充電について

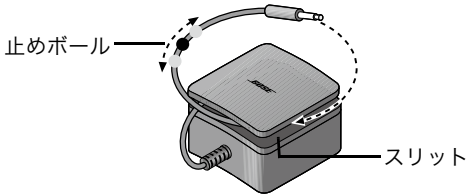
バッテリーを充電するには、ACパワーパックを電源コンセントに差し込み、DCパワーコードをSoundLinkスピーカー背面のDCパワージャックに接続してください。完全に充電するために、約10時間かかります。SoundLinkスピーカー前面のバッテリーインジケーターで、充電の状況を確認できます。

黄色……充電中
消灯……充電完了

システムの持ち運びについて

SoundLinkスピーカーの電源を切り、持ち運べる状態にするために、以下の作業を行ってください。

1. USBキーを取り外し、アンテナを収納します。
2. 必要に応じて、ACパワーパックをコンセントおよびSoundLinkスピーカーから外します。
3. DCパワーコードを、ACパワーパックのケーブル巻き取り用スリットへ巻き付けます。ケーブル途中の止めボールを移動させ、ケーブル巻き取り用スリットに挟み込ませて固定します。

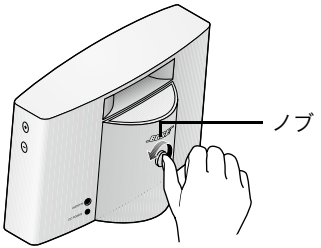


SoundLink スピーカー バッテリーの交換

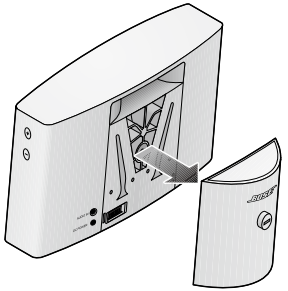
交換用のバッテリーについては、ご購入になった販売店か、ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。
お客様専用ナビダイヤル 0570-080-021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

⚠ 警告：
バッテリーを交換する場合は、Bose純正のアクセサリーバッテリーをお使いください。他社製のバッテリーを使用した場合、安全性、互換性、バッテリーによる動作は保証致しかねます。

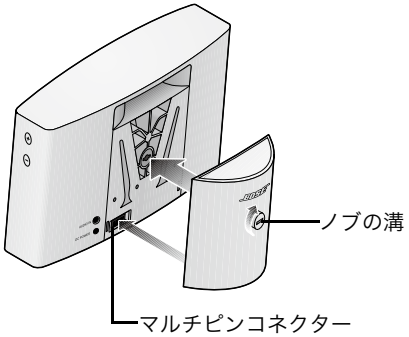
1. 親指の爪もしくは硬貨などを使用し、ノブを押しながら溝が水平になるよう反時計方向に回して、バッテリーを取り外します。



2. 注意深くバッテリーをSoundLinkスピーカーから取り外します。



3. 新しいバッテリーのノブの溝を水平に合わせます。



4. SoundLinkスピーカーのマルチピンコネクターに、バッテリーのマルチピンコネクターを合わせて差し込みます。
5. ノブを押しながら、溝が垂直になるまで時計方向に回します。
6. ACパワーパックを接続し、バッテリーの充電を行います。

リモコンの電池の交換について

リモコンの電池が消耗すると、リモコンの動作範囲が狭まり効きが悪くなってきます。このような症状が出てきたらリモコンの電池を新しいものに交換してください。電池を交換する場合は3Vリチウムボタン電池CR2032またはDL2032をご使用ください。

1. 硬貨などを使用して、バッテリーカバーを反時計方向に回して外します。

2. 使用済み電池を取り外し、新しい電池と交換してください。電池の極性は、⊕側が上になっていることを確認してください。

3. バッテリーカバーをはめ、時計方向にロックするまで回してください。

⚠ 警告：

- リモコンの電池はお子様の手の届かないところに保管してください。誤った取扱いのために火や薬品によるやけどを負う原因となります。また充電や分解、100度以上の過熱、焼却を行わないでください。
- 使用済みの電池は直ちに廃棄してください。同型の同一モデルの電池と交換してください。

お手入れ方法

製品の表面が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。グリルの部分は、掃除機の吸引力を弱にしてそっと吸い取ってください。

- アルコール、ベンジン、シンナー、あるいはスプレー式殺虫剤、消臭剤、芳香剤などの揮発性のものをかけないでください。外装の変質、変色、塗料のはがれなどの原因となることがあります。
- 本機の開口部から液体をこぼしたり、物を入れたりしないでください。

トラブルシューティング

SoundLink wireless music systemをお使いの時に問題が生じた場合は、以下の項目に沿って状況をご確認ください。それでも問題が解消しない場合は、22ページの“お問い合わせ先”をご参照ください。

故障かな?と思ったら

症状	対処方法
USB キーをパソコンが認識しない	・USBキーを一旦外し、30秒待ってもう一度接続する。 ・USBハブを使用している場合は、ハブに電源が供給されているかを確認する。 ・ちがうUSBポートを使用してみる。USBハブを使用している場合は、直接パソコンのUSBポートに接続し直してみる。 ・USBキーを外し、パソコンを再起動させてからもう一度USBキーを接続し直してみる。 ・お使いのパソコンの取扱説明書を参照したり、パソコンメーカーのテクニカルサポートへ問い合わせて新しいハードウェアのインストール方法を確認する。
コンピューターとSoundLink スピーカーとのワイヤレス接続が確立されず、ワイヤレスソースインジケーターが点滅を繰り返している	・パソコンとSoundLinkスピーカーとの距離を近付ける。 ・デスクトップタイプのパソコンを使用している場合、可能であればUSBキーをパソコンのフロントパネル側のポートに差し替える。または、USB延長ケーブルを使用する。 ・USBキーを一旦外し、30秒待ってもう一度接続する。 ・SoundLinkスピーカーからACパワーパックとバッテリーを一旦外した後、再度バッテリーを付け直し、ACパワーパックを差し込み直す。 ・SoundLinkスピーカーとUSBキーとの無線接続をやり直す。方法は、22ページの“ワイヤレスリンクの再確立”を参照してください。 ・SoundLinkスピーカーをパソコンに近付けるか、または外乱を発生する可能性がある機器(他の無線機器、電子レンジ、無線LANルーターなど)から遠ざける。
SoundLink スピーカーがリモコンに反応しない	・リモコンとSoundLinkスピーカーとの間に障害物が無いことを確認する。 ・リモコンの発光部(リモコンの前方部)を、きれいな乾いた柔らかい布で拭く。 ・リモコンを別の位置から使用する。または、SoundLinkスピーカーの置き場所を変える(部屋の照明や日光が影響する可能性がある)。 ・リモコンの電池が正しく入っているかを確認する。電池が古ければ、新しいものに交換する。 ・SoundLinkスピーカーのバッテリーインジケーターを確認し、必要であれば充電する。 ・音楽再生アプリケーションが最前面で動作しているかを確認する。 ・リモコンでは、インターネットラジオ局の操作は行えない。

症状	対処方法
パソコンで再生している音楽がSoundLink スピーカーから聞こえない	・音楽再生アプリケーションを一旦終了した後、再起動させる。 ・USBキーのボタンを押してからパソコンから取り外し、約5秒間待って再び接続し直してみる。 ・SoundLinkスピーカーの音量を上げてみる。 ・SoundLinkスピーカーのバッテリーインジケーターを確認し、必要であれば充電する。 ・パソコンの音量が上げられていて、ミュートされていないことを確認する。 ・音楽再生アプリケーションが動作していることを確認する。 ・リモコンの再生/一時停止ボタンを押してみる。 ・USBキーのボタンを押してワイヤレス接続を再確立させてみる。 ・パソコンの音の再生用デバイスとして“Bose SoundLink Audio” が選択されていることを確認する。
AUX IN ソースが聞こえない	・リモコンのAUXボタンを押し、SoundLinkスピーカー前面パネルのAUXソースインジケーターが点灯することを確認する。 ・再生している機器が正しく接続され、再生中であることを確認する。 ・接続している機器の音量を上げてみる。 ・SoundLinkスピーカーの音量を上げてみる。
受信状態が悪い、あるいは音が途切れる	・USBキーのアンテナの傾きを変える。 ・SoundLinkスピーカーの向きを変える。あるいは、設置場所を数十センチから1メートル程度変える。 ・USBキーをパソコンの別のUSBポートに差し込む。あるいは、電源供給型のUSBハブを使用する。 ・SoundLinkスピーカーを、他の無線機器(電子レンジ、コードレスホン、携帯電話、無線LANルーターなど)から遠ざける。 ・USB延長ケーブルを使用する。延長ケーブルは片方がオス型、もう片方がメス型コネクターとなっているので、USBキーをメス型コネクターに差し込み、オス型コネクターをパソコンに差し込む。 ・上記の対応を行っても問題が解消しない場合は、ボーズユーザーサポートセンターへご連絡ください。

ワイヤレスリンクの再確立

SoundLinkスピーカーとUSBキーとのワイヤレスリンクが切れてしまった場合は、以下の方法で再度リンクを確立してください。

1. SoundLinkスピーカーの電源を入れます。
2. リモコンのワイヤレスソースボタンを、ワイヤレスソースインジケーターがゆっくり点滅し始めるまで押し続けます。
3. USBキーのボタンを、USBキーのパワーインジケーターがゆっくり点滅し始めるまで押し続けます。
4. 両方のインジケーターが点滅から点灯に切り替わるのをご確認ください。ワイヤレスリンクの確立に成功すると、SoundLinkスピーカーから確認音が聞こえます。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　サービスセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

仕様

外部入力	3.5mmステレオミニジャック×1
電源	AC100～240V(50/60Hz) ※専用ACパワーパック使用
外形寸法	307(W)×172.5(H)×127(D)mm
質量	2.0kg(本体とバッテリー)、0.39kg(バッテリーのみ)
カラー	グロスブラック
対応OS	Microsoft Windows XP、Windows Vista、Windows 7 Mac OS X 10.4以降
付属品	専用ACパワーパック、 専用100Vプラグ、リモコン、USBキー

Bluetooth® QD ID
SoundLink speaker: B015402
SoundLink USB key: B015403

※SoundLinkおよび、SoundLink systemの固有のデザインは米国と他国における Bose Corporationの登録商標です。
※Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
※Mac、Macintosh、Mac ロゴ、Mac OS、は Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
※Bluetooth®は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
Bose Corporationはライセンスの基に使用しています。

ボーズ株式会社 http://www.bose.co.jp/
〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル

BOSE®
Better sound through research®

● 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
● 弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1435　10・10-B (B)